

国立大学法人豊橋技術科学大学の達成すべき
業務運営に関する目標（中期目標）

平成 28 年 3 月 1 日 文部科学大臣提示

国立大学法人豊橋技術科学大学の中期目標

(前文)大学の基本的な目標

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とします。この使命のもと、主に高等専門学校卒業生及び高等学校卒業生等を入学者として受入れ、大学院に重点を置き、実践的、創造的かつ指導的技術者・研究者を育成するとともに、次代を切り拓く技術科学の研究を行います。さらに、社会的多様性を尊重し、地域社会との連携を強化します。これらを通じて、世界に開かれたトップクラスの工科大を目指します。

- 【教育の目標】 技術科学の教育を通じて、豊かな人間性、グローバルな感性及び自然と共生する心を併せ持つ先導的な実践的・創造的技術者・研究者を育成します。
- 【研究の目標】 技術科学を究め、産業・社会にイノベーションをもたらす先端的研究を進めます。
- 【国際化の目標】 世界に開かれた大学として、海外教育研究拠点の活用や交流協定校等との連携により、学生・教職員による国際交流を推進するとともに、グローバルキャンパスの実現を図り、技術科学の国際拠点を形成します。
- 【社会貢献、連携の目標】 技術科学の成果を広く活用して、種々の組織との連携のもと、社会が抱える課題の解決に努めるとともに、地域社会の活性化に貢献します。
- 【大学運営の目標】 学長のリーダーシップとガバナンス機能の強化により、大学の資源を最大限に活かすとともに、大学を取り巻く状況や社会的要請の変化に迅速に対応します。
- 【役員、教職員の目標】 相互に信頼・連携・協力し、教育、研究、社会貢献、組織運営等の業務を進めます。
- 【健康・安全管理の目標】 心身の健康を増進するとともに、キャンパスの安全対策と危機管理体制を強化します。
- 【環境配慮の目標】 自然と人が調和したキャンパスを創るとともに、省エネルギー・省資源化を進めます。
- 【情報公開・情報発信の目標】 積極的に情報公開、情報発信を行い、社会への説明責任を果たします。
- 【法令遵守等の目標】 法令を遵守するとともに、研究倫理、行動規範を遵守します。

平成 27 年 3 月に定めた、以上の「豊橋技術科学大学憲章」でも述べている理念と目標のもとで、次のことを挑戦すべき課題とするとともに、第 3 期中期目標・中期計画を設定する。

- 1 国籍、民族、性別を超えて、皆が学び合う活気のある多文化共生・グローバルキャンパスを実現する。
- 2 技術を習得するとともに、技術を支える科学を探求することによって、イノベーションを創出できる人材を育成する。
- 3 オープンアプリケーション方式による応用展開により、融合研究力を強化する。
- 4 世界の人々の生活を豊かにするための新しい知・技術を創出し、その成果を社会に還元する。
- 5 本学で研究する研究者には十分な研究時間を提供するとともに、節目ごとの研究者の流動によって活力ある研究環境を創出する。

また、本学が実施している大型プログラムである「国立大学改革強化推進事業」、「博士課程教育リディングプログラム」、「研究大学強化促進事業」、そして「スーパーグローバル大学創成支援事業」を誠実に推進していく。

◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

1 中期目標の期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日までとする。

2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、別表に記載する学部及び研究科を置く。

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

- 01 本学の特色である学部・大学院の一貫した「らせん型教育」を発展するとともに、グローバル化教育に注力し、先導的な工学系人材を育成する。
- 02 卓越した大学院教育プログラムを充実・発展させ、先導的な工学系人材を育成する。
- 03 組織的な教育の実施と教育課程の体系性向上により、大学教育を質的に改善する。
- 04 国際的に通用する厳格な成績評価を実施するとともに、教育の質を高める取組を継続的に実施する。

(2) 教育の実施体制等に関する目標

- 05 教員組織、教員間の連携による組織的な教育・研究指導体制を充実させる。
- 06 教育内容や方法を深化させ、教育の質を保証するため、社会の要請等に適応した教育実施体制の自己点検・評価を継続的に実施する。

(3) 学生への支援に関する目標

- 07 多様化する学生のキャンパスライフに対応して、学生の視点を活かした学生支援を充実させる。
- 08 本学の特色である長期実務訓練及び多様な産学連携による産業界とのつながりと活発な国際交流等を活かした就職支援体制を充実させる。

(4) 入学者選抜に関する目標

- 09 技術科学への探究心をもった学生を多面的・総合的に評価する入学者選抜を実施する。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- 10 本学の強みである先端融合研究創成分野、実践的技術分野及び関連分野等の先端的研究を推進する。

(2) 研究実施体制等に関する目標

- 11 研究環境と研究の質を向上させるため、研究推進アドミニストレーションセンターを充実させる。

3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

12 本学の有する知や研究成果を活用し、豊かで持続可能な「地域の未来」創生に貢献する。

4 その他の目標

(1) グローバル化に関する目標

13 「大学改革」と「国際化」を全学的に実施し、国際的通用性を高め、ひいては国際競争力を強化するとともに、これまでの実績をもとに、更に先導的試行に挑戦し、多文化共生・グローバルキャンパスを実現し、我が国の社会のグローバル化を牽引するための取組を進める。

14 留学生の受入れ拡大、海外教育拠点を活用したグローバル・イノベーション人材養成教育、海外高等教育機関との連携・交流を推進する。

(2) 長岡技術科学大学及び高等専門学校との連携に関する目標

15 長岡技術科学大学や高等専門学校との教育・研究上の多様な交流や連携を推進・強化し、相互の発展を図る。

16 グローバル指向とイノベーション指向の人材育成を2つの柱として、三機関(長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、国立高等専門学校機構)の豊富な国際連携活動、地域に根ざした産学官連携の強みを活かし、世界で活躍し、イノベーションを起こす実践的技術者育成改革を推進する。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 組織運営の改善に関する目標

17 学長のリーダーシップ並びに外部の意見を活かした戦略的・機動的な大学運営を推進するとともに、本学の有する教育・研究・社会貢献機能を最大限に発揮できるガバナンス体制を充実させる。

18 本学の構成員全員が活性化する人事システムと給与体系並びに研究者の継続性と流動性の促進によって、研究意欲を更に向上させる研究者育成システムを構築する。

19 多様な人材を積極的に採用するとともに、男女共同参画を推進する。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

20 本学の強みや特色、これまでに培ってきた教育・研究実績を基盤に、社会実装、地域社会等の課題、最先端研究等の視点から、技術を究め、機能を更に強化した組織整備を実施する。

3 事務等の効率化・合理化に関する目標

21 管理運営への参画、教育・研究・社会貢献への支援を強化するため、事務改革を実施する。

III 財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標

22 財政基盤を強化するため、外部研究資金及び寄附金その他の自己収入を増加させる。

2 経費の抑制に関する目標

23 財務分析等を活用し、業務の一層の見直しを図り、管理的経費の効率化・合理化を実施する。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

24 資産の効率的かつ効果的な運用管理を実施する。

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

25 自己点検・評価を適切に実施し、評価結果を大学活動全般の改善に活用する。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

26 社会に対し開かれた大学として、大学情報の積極的かつ効果的な公開・発信を実施するとともに、本学のブランディング向上のための戦略的な広報活動を進める。

V その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

27 キャンパスマスタープランに基づく施設設備整備を推進し、魅力あるキャンパス環境を形成する。

2 安全管理に関する目標

28 大学が健全な教育研究の場であるために、心身の健康・安全対策の強化、心身の健康・安全教育の充実、リスク管理を継続的に進める。

3 法令遵守等に関する目標

29 社会から信頼される大学運営を実施するため、コンプライアンスマネジメントシステムの強化並びに研究活動における不正行為、研究費不正使用を防止する取組を徹底する。

別表（学部、研究科等）

学部	工学部
研究科	工学研究科